

雨水を污水管に

流していませんか？



皆様がトイレ・台所・風呂などで使用した排水は、下水道処理場できれいにして川や海に放流しています。しかし雨の日は晴れの日比べ、**下水道処理場に流れ込む汚水量が倍以上**になることがあります。

この原因として、以下の可能性が挙げられます。

- ▼ 雨どいが、誤って污水管に接続されている。
- ▼ 庭などに降った雨水が、污水管に流れ込んでいる。
- ▼ 污水管に接続している外流しから、雨水が流れ込んでいる。

雨水が污水管に大量に流れ込むと、下水処理場の処理能力の限界を超え、処理機能が麻痺してしまいます。それに伴う**悪影響**に以下のことが考えられます。

- ▼ 道路上のマンホールや、宅内汚水ますなどから汚水があふれ出す。
- ▼ 各家庭からの排水が流れにくくなったり、逆流を起こしたりする。
- ▼ 下水処理場で汚水をきれいに処理できず、川や海の水質が悪化する。

嵐山町の公共下水道は、汚水と雨水を別々に処理する「**分流式**」です。そのため、汚水と雨水を一緒に流すことはできません。雨水が污水管へ流入していないか、確認しましょう。

上記のような事態を起こさないためにも、

- 雨どいは、「污水管」や「汚水ます」に絶対に接続しない。
- 外流しの上に屋根がない場合は、降雨時には「栓」をして蓋をする。

など、雨水が污水管に流れ込まないように十分注意しましょう。